

卓 話

平成 19 年 9 月 25 日

『青少年育成委員会今年度活動方針』

2007～2008 年度第 2630 地区
青少年育成委員長 故金正司

本日は委員会卓話として本年度の活動方針を発表させていただきます。
スローガンとして「分かちあいの心」で青少年に勇気と夢を、
そして活動方針は下記の通りです。



1. ロータリアン企業への職場体験受入れ。
2. 学校への講師派遣。
3. 機会を捉えて青少年に社会的ルールやマナーを知ってもらおう。



文部科学省はキャリア教育方針として中・高生への「職業感・勤労意識」を高めることを目的として市町村の教育委員会と協力して学校への職場体験と講師派遣での授業を推進しています。ガバナー会ではこの意図に賛同し、各クラブに呼びかけ青少年育成委員会が 2002 年に発足した経緯です。学校への講師派遣は豊かな職業経験をもつロータリアンの講座は教育現場への大きな力となることは間違いありません。ぜひ当クラブも登録名簿リストを更新して頂き将来ある青少年への社会貢献に協力をお願い申し上げます。活動の手段は職場体験や講師派遣、スポーツコミュニケーション等であり目的は青少年への「職業感・勤労意識」の向上にあります。

登録等の詳細は地区事務所にお問合せ下さい。登録後は貴クラブが中・高生の学校に出向き校長や教頭先生にその主旨をお伝え頂く手順でございます。

上記の写真は伊達カウンセラー及び 6 名の委員会メンバーでございます。

貴クラブの益々ご発展をお祈りし今年度の活動方針の伝達とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。